

市民向け講演会開催しました

令和6年12月1日発行

令和6年11月24日（日）伊奈庁舎2階会議室にてつくばみらい市在宅医療・介護連携推進事業の一つであります市民向け講演会「今、考えよう。『老い』の物語を」というテーマで開催いたしました。講師は水海道さくら病院の総合診療医である小笠原雅彦先生と同病院の職員であり人生会議のファシリテーターとしてご活躍中の山口賢氏にお話をいただきました。どちらの講義もわかりやすく、笑いあり、涙ありのいいお話が聞けて参加者からも「もっと家族と話をするようにしよう」や「総合診療科についてよくわかった」など声が聞かれました。「老いる」と聞くとネガティブなイメージですが、自分のこととして考えることができるきっかけになりました。

つくばみらい市地域包括支援センター



講演の内容

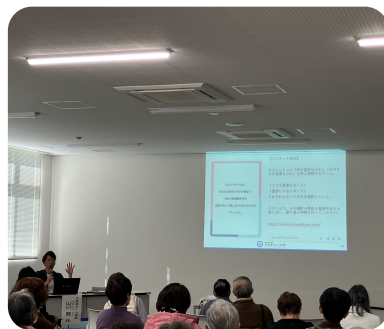
「老い」を自分のこととして考え、自分自身で望む暮らしを考えていただけように今回のテーマとして選びました。

第一部 水海道さくら病院 小笠原雅彦先生

「老いや療養を自分らしく！
総合診療科でできること」

第二部 水海道さくら病院 山口賢氏

「人生会議で叶える、自分らしい老後」



総合診療科？

生活を支える医療が得意！
特定の臓器を対象にするのではなく、複数の健康問題を抱える患者を総合的に診療する科。本人の生活なども踏まえて、診療を行います。2021年に総合診療専門医の第1期が誕生し徐々に増えている今注目の診療科です。



人生会議



いつ訪れるかわからない「もしも」の時に自分の意思を医療スタッフに伝えられるのは約30%です。自分の思いや大切にしたいことなどを身近な人に伝えていくことで、自分の意思をつないでくれます。それが人生会議です。日々の何気ない会話で十分です。ご家族と話をしてみませんか？

参加者の声 ①

「総合診療科」初めて聞きました。自分自身で歩くこと、食べること、出すこと続けられるように心がけていきたいです。

参加者の声 ②

子供に迷惑をかけたくないという思いから、あんまり話さないようにしていたけどそれが逆効果になることを知りました。これからは何でも話して伝えます。

事務局より

地域包括支援センターでは、在宅医療のこと、介護のこと、人生会議についてなど様々な出前講座を行っています。お気軽にお問合せ下さい。

